

「私の体験」

20代の頃の私は、目鼻立ちパッチリ、顔は丸顔——ふっくら、ピチピチ。社会（営業の仕事）に出てからは、他人は私を見て必ずこの言葉をかけてくれました。

「あなた～お肌キレイねー。」

「若さっていいわねー。」

そして、必ずご自分のことを、

「ああ～、私にもあったのよ。若い時が…。」

「あの頃は、私もピチピチしていたわあー。」

その時私は、「人は変わるんだな～」と感じました。

それでも私は、この「キレイな肌」がいつまでも続くと思っていました。



いまの私は30代も半ば過ぎ。

大きな勘違いと間違いを犯していたことに気が付きました。肌はボソボソ、シミがうっすら、化粧のりの悪いこと。体は元気なのに、顔に元気が出ないこの悲しさ。

〈ひとり言〉

「新車だって10年経ったら買い替えるものね～。肌だって傷むわよねー。」



友人から紹介してもらった左希子化粧品のスキンケア（手当て）を習い。

いままでどれだけの間違いを犯してきたかを痛感。

顔をゴシゴシ洗い、つっぱることをハリと勘違い、脂気が無くなるのでベタベタと油分のものを塗り、ベタベタがしっとりだと思い込んでいました。

でも、世の中には凄い化粧品（左希子化粧品）があるもので、肌をつくり直し、正しいスキンケア（手当て）で、良い肌を長持ちさせてくれます。

「皆さ～ん、この化粧品を知らないで、私みたいに損をしますよー」

って、お伝えしたいです。